

先日は、手賀沼定例探鳥会にご参加いただき、ありがとうございました。観察会のレポートを作成しましたのでご覧ください。次回7月の「てがたん」は10月10日(土)で、「秋の花と巻き付く植物」がテーマです。ご都合のつく方は、ぜひご参加ください。

\*市民スタッフの方々へ 次回のとがたん下見&打ち合わせは10月3日(土)です。よろしくお願いいたします。

\*参加の有無に関わらず、自然観察と生物調査スタッフのみなさまにレポートを送付させていただきます。

## 9月の観察コースと内容

- コース：鳥の博物館→香取神社→手賀沼遊歩道→鳥の博物館
- 観察日時/天気 2009年9月12日(土)/雨
- 参加者 25名(一般13名 子ども12名)
- スタッフ 6名(石原直子、岡廣志、加藤文雄、小泉伸夫、古川克彌、湯瀬一栄)
- 鳥博職員 2名(斉藤安行、村松和行)

## 観察記録 - 9月に観察した生き物リスト

### 【鳥類】

カイツブリ科：カイツブリ/サギ科：ダイサギ、コサギ/カモ科：カルガモ、\*コブハクチョウ/キジ科：キジ/クイナ科：バン/チドリ科：コチドリ/シギ科：イソシギ/ハト科：キジバト/カワセミ科：カワセミ/キツツキ科：コゲラ/セキレイ科：ハクセキレイ/ヒヨドリ科：ヒヨドリ/ハタオリドリ科：スズメ/ムクドリ科：ムクドリ/

\*は家禽

### 【は虫類・両生類・魚類・甲殻類、貝類】

ニホンアマガエル

### 【昆虫・クモ】

チョウ目：ヤマトシジミ、ウラギンシジミ(幼虫)、イチモンジセセリ、コジャノメ、イラガ(幼虫)/カメムシ目：アオバハゴロモ/カマキリ目：オオカマキリ、コカマキリ/バッタ目：ショウリョウバッタ、オンブバッタ、コバネイナゴ、ツチイナゴ、ヒシバッタ、トノサマバッタ、ウマオイ、ヒメギス、ウスイロササキリ、クビキリギス、アオマツムシ、エンマコオロギ、ツツシサセコオロギ、オカメコオロギ、マダラスズ、シバズ、キンヒバリ、クサヒバリ、カネタタキ/トンボ目：ナツアカネ、ノシメトンボ

●バッタ目は声のみ確認のもの含む

### 【花・草本】

キク科：ハキダメギク、ダンドボロギク、トキンソウ/マメ科：クズ、シロツメクサ、\*ツルマメ/タデ科：ミゾハギ、ミズヒキ、シロバナサクラタデ、オオイヌタデ、サデクサ/イネ科：セイバンモロコシ、マコモ、チヂミザサ/イラクサ科：カラムシ/スベリヒユ科：スベリヒユ/アカネ科：ヘクソカズラ/ブドウ科：ヤブガラシ/アカバナ科：ヒレタゴボウ/シソ科：ヒメジソ/キキョウ科：ミゾカクシ/ツユクサ科：ツユクサ/ハエドクソウ科：ハエドクソウ/カヤツリグサ科：ヤマイ、コアセガヤツリ/オシロイバナ科：\*オシロイバナ/ミソハギ科：\*サルスベリ/キョウチクトウ科：\*キョウチクトウ

\*は栽培種

# 9月の観察アルバム



9月のテーマは「トンボとバッタを探そう」でした。あいにくの雨で、トンボはノシメトンボとナツアカネしか見られませんでした。耳をすますと、バッタやコオロギの鳴き声が聞こえてきました。タデ科やカヤツリグサ科の植物が目立ち始め、秋の訪れを感じさせる観察会でした。



案内人 小泉伸夫さん



① ココマキリ

足の白と黒が特徴です。



② ウラギンシジの幼虫

シジミチョウの幼虫はアリと共生するものが多いです。



③ イチモンジセリ

秋になるとよく見かけられるチョウです。



④ アオバハゴロモ

幼虫には尾に白毛の束があります。体長9~11mm。



⑤ ミスジマイマイ

雨の観察会の常連です。



ノシメトンボ

雨でトンボはあまり見られず、ノシメトンボとナツアカネだけ観察できました。ノシメトンボは胸の真ん中の黒い線が太く、上までしっかり伸びています。



9月の観察コースと見た生き物



ハネナガイナゴ

コバネイナゴと比べ翅が尻先端よりも長いのが特徴です。関東以西に分布しています



⑩ シロバナサクラタデ

サクラタデよりも花が小さく、大きさは約3~4mmです。



⑨ ミゾカクシ

溝を覆い隠すように広がるのが名の由来です。



⑧ ヤマイ

遊歩道沿いに繁茂します。花期は7~10月。



⑦ コアゼガヤツリ

カヤツリグサよりもやや小さい一年草です。花期は8~10月。



⑥ ヒメジソ

3~7mmの小さな花が咲きます。花期が9~10月。

## 下見ではこんな生き物を観察しました！



ホタルガ

日本全国に分布します。幼虫で越冬して5~9月に成虫が出現します。飛ぶと羽の白い模様が輪のように見えます。翅を広げると50~60mmになります。



ビロードハマキ

本州以南に分布します。幼虫はツバキやカエデの葉を食べます。翅を広げると35~50mmになり、飛ぶと黄色い模様が目立ちます。



ツバメシジミ

ウラギンシジミの幼虫と同じように、アリと共生しています。幼虫で越冬し、シロツメクサやハギなどのマメ科植物を食べます。



エビガラスズメガ

スズメガは体色の個体差がとても多く、特にエビガラスズメガは様々な体色と模様があります。幼虫はヒルガオ科の植物を好んで食べます。体長90~100mm。



ヒメギス

肉食性でトゲがついた前脚で餌を捕まえます。幼虫は低い所で生活し、成虫になると高い所で生活します。成虫の体長は約4.5mmで背中茶色や緑色の線があります。



エゾエンマコオロギ

エゾエンマコオロギは顔がすべて黒く、体長は20mmほどの小さなコオロギです。本州では東北~中部で局地的にみられます。